

痛みの分かち合いの会

谷口 稔さん

配偶者（夫）を喪失した体験談を11月29日（日）県北生涯学習センターの小講座室で18名参加され、菅野志津子様、安嶋ツネ子様より体験発表がありました。

内容については、口外しないことが約束なので、お知らせ出来ませんが菅野さんは、夫のそばに居て、気難しかった事が、一番悔やまれると。安嶋さんは在宅で3か月、夫婦で暮らせたのが、幸せだったと、云っておりました。この会は、同じ喪失体験をもつ方々に参加していただき、痛みを、分かち合うことで、少しでも悲嘆や心の痛みを和らげることが、できればとの趣旨に沿って行われるものです。

人生を喪失、挫折は誰にも起こる出来事。そんな時は黙って話を聞いてくれる仲間が必要です、そして悲嘆・悲哀の感情を肯定的に理解し、受容することです。

河越保久初代会長が、この会を立ち上げられましたが、残念ながら平成27年9月17日に、ご逝去され、今回吉澤峰子副会長が会長を引き継がれました。副会長には芳賀百合子さんと、今回新しく河越みさ子さんがなられました。次回の分かち合いの会は、平成28年1月31日（日）の予定です。

詳細は追って、後日ご連絡を致します。



体験発表者：左より安嶋ツネ子様、菅野志津子様



聴講風景（写真：加藤正昭さん）

